

2020年は地球を守り 平和を守る節目の年です

風だより



県議会議員はくいし恵子の
発行 島根県議会議員
はくいし恵子
2020年1月20日発行
拡大版 VOL.27

温暖化対策は 暮らし方を変えること



明けましておめでとうございます。今年のお正月は休みの期間が長く、天気も穏やかでしたから、皆さまおそろいで穏やかに過ごされたことと思います。私も恒例の親族集合でにぎやかなひと時を過ごしました。今年は4か月の孫も1人加わり、息子のパートナーも増えたので、一層嬉しい新年となりました。けれど去年も今年も冬なのに雪も降らず、気温も暖かなのは過ごしやすくいい、と言える半面地球温暖化の影響かと思えますし、農業の水不足も心配です。昨年の台風被害も今までの日本にはなかったような被害を各地に与えましたが、これも温暖化の影響だともっと真剣に自分達の暮らし方を考えないといけないと思います。昨年久しぶりにミュージカル「愛と地球と競売人」を鑑賞しました。ご存じのように今は亡き坪田

はくいし事務所

〒690-0882
松江市大輪町414-12
TEL・FAX
0852-23-0880
HPアドレス
<http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>
※是非、お立寄りください。

愛華さんが亡くなる直前、小学校4年生の時に描いた漫画が原作です。

今こそこのミュージカルに込められた愛華さんの思いをしつかり受け止めなければなりません。私たちの暮らす大切な地球を、悪魔に売り渡すのは誰であろう私たちが自身であることが今までにまして現実として迫ってきます。

国連地球温暖化サミットで大人たちに向かって「温暖化に本気で取り組まなければ許さない」と訴えたグレタさんに真剣に答えなければ、子どもや孫の世代に住みやすい地球を手渡すことができません。世界全体の努力はもちろん、1人1人の自覚も問われています。

また年頭のアメリカによるイランの司令官殺害により、中東とアメリカの緊張が高まり、今回ほど戦闘が現実のものとして感じられたことはなかったと思います。

さすがに一気に戦争に突入することは避けられましたが、今も緊張は続いており、ここに至るまでにも様々な伏線があった様ですから、まだまだ予断は許されません。

世界各国は共生より自国主義に向かっていき、今年ほど平和の大切さを思わされた新年はなかったと思います。

この1年が、平和が守られ、この地球に生きる人々がともに生きることのできる世界へ向かう1年となりますよう願ってやみません。

はくいし恵子



県外調査・被災地荒浜小学校前より

建設環境委員長長の責務

建設環境委員長職も早いもので2月議会が終われば1年が過ぎることになります。2年間の任期の間、調査テーマを設け県内外の調査や参考人聴取、勉強会などを行い、2年目の11月から2月議会に調査報告・提言を行います。

委員長を拝命したとき、私ならではのテーマを、と思い環境生活部では「男女共同参画の推進」土木部では「防災減災の県土づくり」をテーマとし、

特に東日本大震災の際大きな役割を果たされたエルリイラ仙台では、災害時の避難所において女性の立場に立った運営がなされることの大切さと、その為には平時から女性

建設環境委員長職も早いもので2月議会が終われば1年が過ぎることになります。2年間の任期の間、調査テーマを設け県内外の調査や参考人聴取、勉強会などを行い、2年目の11月から2月議会に調査報告・提言を行います。

今年度の県内調査は昨年浸水被害にあった江の川地域へ出向き、復興の状況や今後の課題を聞き、県外は宮城県、仙台市、福島県に伺い、男女共同参画政策について伺いました。

今年度の県外調査は、一昨年の災害から復興に取り組まれている広島県に、県内調査は県内の男女共同参画がどの程度進んでいるのか、今後の課題は何かを調査する予定です。

図らずも、2つのテーマが「災害対策」の点で連動していることに着目し、いつ起こるかかわからない災害への備えに役立つ提言ができれば、と思っています。

が様々な場にいることの大切さを学びました。「平時にできないことは災害時にはもっとできない」という言葉を重く受け止めました。

今年度の県外調査は、一昨年の災害から復興に取り組まれている広島県に、県内調査は県内の男女共同参画がどの程度進んでいるのか、今後の課題は何かを調査する予定です。

図らずも、2つのテーマが「災害対策」の点で連動していることに着目し、いつ起こるかかわからない災害への備えに役立つ提言ができれば、と思っています。

民主県民クラブ 知事要望

教育の質の向上など11項目を要望

11月議会最終日の17日、民主県民クラブとして丸山知事になって初めて、来年度の予算政策要望書を手渡ししました。

例年は各部署ごとに方向性も含めた要望項目をまとめ、今回ですが、今回は11項目を絞って11項目としました。

極めて限定的な奨学金返還助成制度の条件緩和、種子条例の制定、県内企業が県外進出する際の助成金の創出等が代表例です。

具体的には、項目も絞って11項目としました。

極めて限定的な奨学金返還助成制度の条件緩和、種子条例の制定、県内企業が県外進出する際の助成金の創出等が代表例です。



(中央が丸山知事)

ですが、とりわけ今議会大きな議論になった教育予算の見直しに関して、少人数学級編成の見直しだけでなく、教育の質の向上と教職員の働き方改革を進めるよう強く要望しました。今後でもできるだけ具体的に制度創設や予算化に結び付く要望をしていきたいと思っています。

今までは60項目余りの膨大な要望で、15分程度の時間では説明も難しかったのですが、見直しをしたことと知事から30分の時間を頂けたことで十分な説明と意見交換ができたと思っています。

これからもできるだけ具体的に重要な政策課題に絞った要望活動を行っていきたく考えています。

はくいし恵子の県議会報告



11月県議会

一般質問から抜粋
(11/21~12/17)

9月県議会

一般質問から抜粋
(9/5~10/4)

女性の人口増に向けて

—女性の視点を重視する企業を—

質問：女性の人口をどう増やすかについて

【地域振興部長】女性にとつて魅力ある仕事、働きやすい企業など情報共有を進め、ニーズを踏まえた情報発信に努める。

【商工労働部長】子育てや介護中の支援等誰もが働きやすい職場が女性にも魅力的と考えている。

様々な制度で表彰している企業を高校、大学、UターンフェアでPR。今年度はしまね大交流会で女性が活躍している企業を集めたコーナーを設置する。

質問：県職員の働き方改革について

【総務部長】TV会議システム、テレワーク導入、サテライトオフィスを実施。今年度はAIによる会議録作成、RPAの実証実験を開始する。時差出勤制度は1割が利用。

その他柔軟な勤務時間割り振り、有給取得促進等の新たな取り組みを進めている。

【総務部長】適材適所を原

【総務部長】適材適所を原

教育で人材づくりを

性への支援について伺う。
【商工労働部長】商工団体の経営支援、アドバイザー派遣や制度融資による運

質問：教育を通じた人材づくりについて

【教育長】主体的な重視の観点から、企業誘致に役立ててほしい。

【知事】事務系の業種、子育てなどに対応できる働きやすい職場が魅力的と考

【教育長】魅力化事業は全県に広がり、小中学校や地域も参画し、広がりを見せている。

【教育長】魅力化事業は全県に広がり、小中学校や地域も参画し、広がりを見せている。

災害の備えと

困難を抱える人への支援を

【総務部長】土木職場に業務負担が生じていることは承知している。しかし厳しい財政状況の中では災害を見越して人員に余裕を持たせるのは困難。土木系職員の採用が予定通りできていないので、まずそれを改善する努力をしていく。

【知事】10月時点で13市町村設置され、来年度中には全市町村設置見込み。関係者の研修の充実

【健康福祉部長】保健師研修では、面接技術の向上

【健康福祉部長】保健師研修では、面接技術の向上

地域と食を守るために

の導入に積極的に取り組んでほしいが、考えを伺う。
【地域振興部長】それぞれの地域の交通手段の確保に

質問：島根の農業と安全な食について

【農林水産部長】経営面からは収益性の高い水田園芸への転換も必要。農地維持の点からは担い手の確保育成により、小規模農家も含めた地域営農をデザインしていきたい。

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

【健康福祉部長】成功事例を情報提供し、ネットワー

地域と食を守るために

資するよう、実証実験の成果や課題を把握し、各市町村への情報提供に努める。また事例集を作成する。

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

【農林水産部長】農業だけでなく保護者の希望に添い、地域活性化にもつながる理想的なネットワー

津和野町 民主県民クラブ県内視察 吉賀町

元気な町には 改革と改善がある



子どもに手厚い助成 若い人が増えている

11月議会終了後の12月18・19日、吉賀町、津和野町に伺いました。

吉賀町は人口6200人余りの小さな町ですが、子育て支援に力を入れておられます。

子育て支援では邑南町が有名ですが、吉賀町も素晴らしいと聞き、行ってきました。「子どもは国の宝、町の宝」という視点で、前町長時代から体制を整備してこられました。

病院は国による再編ではなく 地域医療をどう守るかです

津和野町共有病院は、厚生労働省が「再編統合」について特に議論が必要」として名前を公表した全国424病院のひとつです。現場の考えや思いを聞くために伺いました。

かつては厚生連の経営で、津和野、日原2か所にあつた共存病院は、医師不足や人口減少の波を受けて12年前に公設民営の津和野共有病院として再出発しました。

しかしH30年度は副院長、院長の相次ぐ病気休職で危機的状況になりましたが、県内外からの応援により何とか地域の医療を守つておられます。

「国の公表は、H29年6月時点のデータに基づいたものであり、当病院は



現在、子ども医療費は高校生まで全額助成、保育料は一時保育費、給食費も完全無料、小中学校の給食費完全無料、放課後児童クラブ利用料完全無料、通学費助成、妊娠、出産支援として、不妊治療費上限9万円3年間助成、妊婦検診、分娩、産後1か月検診の通院費一部助成など至れり尽くせり。その他にも1・3・5歳

H30年11月に療養病床を49床を老健46床に転換、病院50床を地域包括ケア33病床、一般16床に再編している。

また益田日赤病院との連携支援協定により経営の安定化を図り、人口減少の中で地域医療を守り、維持しようとしている。

だ元気なうちに子どものもとに転出する人が増えており、住み慣れた場所で生活し続けられるよう、今後は医療住居近接型病院を考える必要がある」というお話を伺いました。



防災用 伍入りパン

の誕生日にはバースディブックプレゼントや小中

学校新入学お祝い、修学旅行費助成など小さい町ならではのきめ細かい支援が満載です。

その結果幼児人口はH28年から増加に転じ、H27年に199人だった0歳から5歳までの人口が、H30年度は245人となつています。特に0歳児はH30年度55人とH17年度以降最多となりました。

財源は小水力発電の収益

3人以上の多子家庭も増加しており、子育て支

財源としては過疎ソフト事業債と、H27年に改修してF-Tの適用と

が示す20分では行けず、住民の生活のためにも人口維持のためにも必要な病院です。

地域を変える高校生

津和野高校では、新聞等で有名になった「センセイオフィス」を視察しました。

まず驚くのは、高校魅力化コーディネータさんのついでにスイスの家具メーカービトラと出会い無償提供されて実現したことです。

そして改装までに職員アンケートやワークショップ、プロジェクトチームの立ち上げ、ビトラさんとの綿密な打ち合

援が手厚いと「もう1人産みたい」という希望をかなえられる好事例になつているのでは、と思います。

また、移住者も子どもがいる20代30代が増えていきますので、手厚い子育て支援は効果を上げていくと思えます。更に早期に就労を開始する世帯が増加し、介護、医療などの職場の人材不足に貢献しています。

なつた町が運営している小水力発電所の収益から毎年1400万円の繰り



り生徒とコミュニケーションがうまくできることでやりがいを感じられ仕事の質が上がった、ということでした。

「センセイオフィス」が単独でなされたのではなく、「先生にとつて魅力的な学校」は、「生徒にとつて魅力的な学校」だということ

あった、というのがなるほど、と思わされたことでした。

恵子の想い

9月今議会のトピックは、「女性に魅力的な企業」「島根の教育」についての議論が同僚議員の質問の引用として取り上げられたこと。

しっかりと聞いてもらつたこと、関心を持ってもらえたことは嬉しい限りですが、惜しむらくはもう少し実のある答弁を引き出せなかつたことです。

19年9月議会は島根創生計画の素案や中期財政運営方針案などが示され、また厳しい県財政に対応するため、すべての経費を対象に見直しを求められるといった辛い現実も示されました。

しかしそうはいっても守らなければならぬ事業はしっかりと予算を担保しないとイケないと思つていきます。

例年11月議会は、県職員

用伍入りパン」について調査しました。3種類の伍入りパンは、キャラメル、イチゴ、チョコレートの三種の味があり、柔らかいのでお年寄りや子どもも食べやすくいいなと思えました。

松江や浜田、山口からきている方もおられるということで、グループホームやミニデイ、生活介護事業など多くの事業をされています。障がい者と共に暮らそう、という橋本理事長の熱い思いに胸を打たれました。

取り上げていきます。今回は「働き方改革」でしたが、県の職場がひとつの事例となつて県内全体の企業へも広がって行くことを願い、時間外削減の具体策や男性の育児休業取得の促進、子育てや介護中の職員への配慮を取り上げました。少しづつでも進んでいくことを願っています。

11月議会は島根創生計画の素案に沿つた具体的なスクラップアンドビルドの事業が示され、その中でも少人数学級編成の見直しが大きな議論となりました。

潤沢な財政状況であればあれもこれもやりたいのは山々ですが、毎年20億の赤字が発生する厳しい状況では、そうならないのが現実です。今後

も様々な議論を重ね、よりベターな結論を得たいと思つていきます。

はくいし恵子

